

世界史 A オンライン授業演習問題

【第3回：古代オリエントの世界帝国】

1 【基礎】次の文章を読み、問1～問5に答えよ。

紀元前 14 世紀にミタンニ王国から独立したアッシリアは、紀元前 12 世紀の民族移動に併せて勢力を拡大した。その後紀元前 8 世紀に入り、ア は軍事遠征を繰り返し、イスラエル王国を滅ぼした。この頃までに、アッシリアは(1)鉄製武器と弓で武装した騎兵隊・戦車隊を擁する軍事国家となっていた。しかし、紀元前 7 世紀に最大版図を実現し、都の イ に図書館を設置したことで知られるアッシュル＝バニパル王が死去すると、重税と(2)圧政に対する服属民の反抗を受けたアッシリアは紀元前 612 年に滅亡した。

アッシリア帝国の崩壊後、オリエント世界には(3)4 つの王国が分立した。これらを征服して再び世界帝国を築いたのがアケメネス朝である。アケメネス朝建国の祖 ウ から第 2 代カンビュセス 2 世期にオリエント統一を達成すると、第 3 代 エ はアッシリアの制度を引き継いで(4)中央集権体制を確立した。一方、エ はギリシア人に対して オ 戦争を起こすが敗北し、その子クセルクセス 1 世もギリシア人に敗れると、帝国は弱体化した。

- 問 1 空欄 ア ～ オ をそれぞれ埋めなさい。
- 問 2 下線部(1)鉄製武器について、世界で初めて鉄製武器を本格的に運用した人々を何というか答えなさい。
- 問 3 下線部(2)圧政について、総督を派遣して統治を行わせた各地の征服地を何と呼ぶか答えなさい。
- 問 4 下線部(3)4 つの王国について、次の各文のうち正しいものを 1 つ選びなさい。
- ア エジプトにはサイスを都に置く第 26 王朝が興った。
 - イ イラン高原に成立したリディアは、世界最古の貨幣を铸造した。
 - ウ セム語系カルデア人が建てた新バビロニアは、イスラエル王国を滅ぼしてバビロン捕囚を行った。
 - エ サルデスを都としたメディアは、ペルシア人によって倒された。
- 問 5 下線部(4)中央集権体制について、各州に派遣されて大きな権限を有した一方、王直属の諜報部隊「王の目」「王の耳」によって監視された人々を何というか答えなさい。

2 【発展】アケメネス朝ペルシアのダレイオス 1 世が広大な帝国

を維持するために利用した統治・行政制度の特徴を簡潔に説明しなさい。ただし、以下の語句を必ず用いること。

[語句：サトラップ、被征服民]

【解答】

1

- 問1 ア サルゴン2世 イ ニネヴェ ウ キュロス2世
 エ ダレイオス1世 オ ペルシア
- 問2 ヒッタイト（人）
- 問3 属州
- 問4 ア （*イ：イラン高原→アナトリア／*ウ：イスラエル王国→ユダ王国
 *エ：サルデス→エクバタナ）
- 問5 サトラップ

2

徴税区かつ行政区である州に中央からサトラップを派遣し、「王の目」「王の耳」による監視を行いつつ中央集権体制を確立した一方、被征服民の宗教・慣習には寛容な政策をとった。

（解説）

サトラップに関する制度はダレイオス 1 世の代表的施策であるので、必ずおさえておくこと。また、アッシリアとの比較から被征服民の取り扱いを説明できるようにしておくのも重要。

【類題：筑波大(2009)】